

オパビニア

ある生物教師のつぶやき

9号

令和元年9月12日

作成 栗山

死なない奴ら（ハダカデバネズミ）

春頃のNHKのテレビ番組「サイエンスZERO」でハダカデバネズミについて特集していました。このネズミは寿命が普通のネズミの10倍以上あるそうです。しかも、死ぬまで病気にならず「ピンピンコロリ」（健康寿命100%）、理想の生き方をしている、すごい生物なのです。この生物の研究をすることで「老化防止」、「ガンなどの難病の治療」にもつながる可能性があります。今後の研究成果に期待したいと思います。

ハダカデバネズミとは

アフリカのエチオピア、ケニア、ソマリアなどのサバンナの地中に暮らしている「げっ歯類」です。彼らは地下のトンネルの中で数十匹から最大300匹くらいの大規模な群れをつくって生活しています。アリやハチのような社会性をもっていて、群れの中には一匹の女王ネズミと数匹の王ネズミがいて、彼らだけが生殖を行い、ほかのネズミは生殖行為をしません。非繁殖ネズミは兵隊、穴掘り、食料調達、仔守りなどの役割を持っていて、協調して集団生活をしているのです。

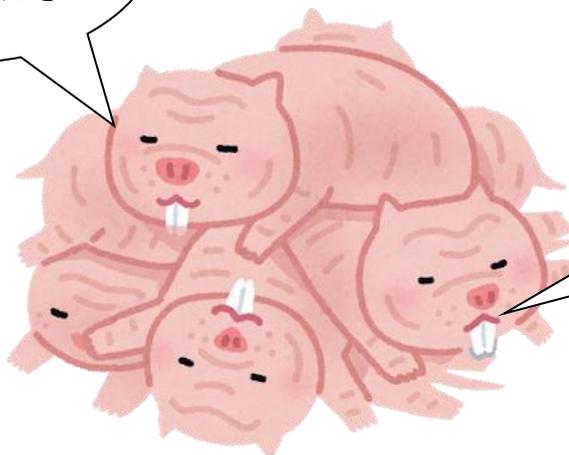
なかでも興味深いのは、ハダカデバネズミは、からだの大きさはほぼマウスと同じですが、すごく長生きで平均寿命は28年もあること。そして実験用のマウスは生きているうちに約半数程度にがんが発生しますが、これまでのところがんにかかったハダカデバネズミは1匹も確認されていないことです。

テルモ生命学芸財団 HPより

左図のような生物で、体毛がなく歯が大きく前に突き出しています。土中の低酸素条件に適応した結果不死身の能力を手に入れたようですか？

図は、自然の展開図 HPより

僕たちは
不死身です。
僕たちのよう
になってください



Zzz...

